



たじま・みつえ 1944（昭和19）年生まれ、東宮内在住。
趣味はスポーツ・手芸・クラフトテープ。休みの日の楽しみは夫と一緒にする農作業

スペシャルオリンピックス日本・熊本
荒尾ブランチ代表

田島光枝さん

「知的障がいのある人といっても、皆それぞれに個性があって、純心です。恥ずかしくて物陰からそっと見てくる子もいるし、明るく話しかけてくる子もいるんです」と、笑顔を見せる田島光枝さん。スペシャルオリンピックス（SO）日本・熊本で、荒尾ブランチ（支部）の代表とバレーのコーチを務めています。

SOとは、知的障がいのある人たちにさまざまなスポーツトレーニングと競技会を提供している国際的なスポーツ組織です。スポーツを通じ、多くの人と交流することで、社会性を育み、自立を後押しします。

田島さんは世界大会や全国大会で活躍する選手を何人も育ててきました。「アスリート（知的障がいのある競技者）にとってスポーツは難しいかもしれませんが、粘り強く続けていけば、必ず上達するので、見守ることが大切です」

SOの全国組織が熊本で発足したのは1993（平成5）年。支援学級教員だった田島

さんは「荒尾にもスポーツに興味がある知的障がいのある人は必ずいる」と考え、同年に荒尾ブランチを設立。設立時はバレーのほか多くの種目でコーチを務め、アスリートの指導に全力を注いできました。

設立から24年、荒尾ブランチは田島さんや多くのボランティアに支えられてきました。「みんなは一人のために、一人はみんなのために。大学時代のバレー部の監督が大切にしていた言葉ですが、今では私達の原動力です。これからも寄り添っていきます」

ことし10月には、SOの県大会が荒尾で行われるため、「荒尾の人にもSOのことを知ってもらおうチャンスです」と意気込みます。「知的障がいのある人の自立を助け、包み込めるような社会を作っていくためにはSOの活動が不可欠です。そのためにはもっと多くの人の力が必要。ぜひ一度プログラムを見に来て、体験してほしいですね」

田島さんの歩みはこれからも続きます。



1_平成23年にアテネで行われたスペシャルオリンピックスワールドゲームでの一枚。バレーのコーチとして参加し、チームを引率しました。写真左端が田島さん 2_バレーの指導風景。熱心な指導はアスリートに大好評です 3_文化センターで行われる「健康福祉まつり」に、荒尾ブランチは毎年参加して祭りを盛り上げてくれます。

